

呉市手をつなぐ育成会 ～10月号～

育成会だより



令和5年10月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館 3階

Tel (0823)24-2260

Fax (0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>



障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



呉市立荘山田小学校
たんぽぽ・ひまわり学級共同作品

～はたけのゆかいななかまたちだよ～



もくじ

10月の予定



- 表紙 呉市立荘山田小学校
- P.2 「余裕」中川会長 研修会報告
- P.3 知的・発達障害のある子どもを育てるQ&A
～困った行動への対応編～
- P.4.5 令和手をつなぎ生きる vol.21. 22
「将来について考える」 IT 研修会報告
「もうすぐ35歳になる娘」
サポートファイル学習会報告
- P.6 ぼくの学級！わたしの学級！
呉市立明德中学校
- P.7 本人活動報告 野呂山作品展案内
- P.8 お礼 広告 お知らせ 編集後記

- 10月15日(日)
くれ福祉まつり (呉ポートピア)
いくせい太鼓 うたう会 ステージ発表
- 10月15日(日)
うたう会 13:30(呉つばき会館)
- 10月21日(土) 11月4日(土)
いくせい太鼓 14:00(呉つばき会館)
- 10月22日(日)
第48回 広島県知的障害者福祉大会 尾道大会
第21回 はつらつ大会(本人大会) 尾道大会

★次回発行予定は11月1日です。



「余裕」

会長 中川 潤二



朝のルーティン。目覚ましを5時55分にセットしているが、その5分前には起き上がってアラームを解除。時間を見るためテレビをつける。6時55分Eテレで「0655」を見る。「わが輩は、犬」のコーナーがお気に入り。飼っている人の言葉はわからないが、この人の気持ちはよく分かる。というフレーズが良い。

元気をもらって7時6分に係のお迎え。7時10分、孫が住んでいるマンションの4階のドア前で待つ。男の子は早起きで、娘と一緒に朝食を摂っている。女の子はぎりぎりまで寝ているので我が家で朝食。男の子はその後、一人でブロックなど組み立てて遊んでいる。女の子がやっと食べ終わる頃は、8時。でもここからは女の子は速い。服を仕替え歯を磨き8時10分、園バスの時間。鞆を背負い、水筒を下げ、帽子を被り、玄関に向かう。男の子は遊びを止められなくて、無理やり鞆を背負わせ準備。園バスが来る5分前に駐車場へ行く。そこまでの時間、妻は二人をよく見ている世話をする。私はというと、「時間がないよ。はよせんと。」と小言が多い。言われている二人も私の表情を見ながら熱心に聞いてくれてお母さんの思いが届いたことと申します。心にも余裕をもってがんばろう。んなときは「おばあちゃんが良い。」で私は

「もう知らんよ。」と言い捨てる。何と気が短いのだろう。

夕食お風呂をすませ、二人を送って行って21時過ぎ、妻と夕食を食べながら又、反省。

毎日、来ている孫は双子。男の子と女の子。似ている所もあるが、体形も性格もかなり違う。しっかり者の女の子、甘えん坊でマイペースの男の子。時々けんかもするが基本仲が良い。人ってそれぞれ違うんだということ二人の育ちで感じている。

しかし、つい大人の自分の時間に合わせようと二人を焦らせている。自分ではいろんな行動を5分前に計画してゆとりを持ってと思っているが、かえって余裕がないと焦っている。それが態度にもでていく。

妻や娘の係への接し方を見ていて私に足りないのは余裕。「様子をしっかりと見る。」のは当然大事だが、「細かい行動の逐一に反応せず、大切なことをしっかりと分かるように教える」ことが必要。基本的なことをもう一度、自分に言い聞かせて「明日の朝5時55分にアラームをならす。」とスマホに言おう。

いつもの日常が一番子どもを育むのに大切なことと申します。心にも余裕をもってがんばろう。



報告

9月19日(火)昭和市民センターで開催された民生委員児童委員さんの21区心身障害(児童)福祉部会研修へ参加しました。「地域で育つ」をテーマに、3人のお母さんに、障害の子どもを授かり育てる中で、感じた事思った事を話していただきました。

【話をされたお母さんの感想】

・私自身、地域の方には息子の障害の事をはっきりとは言えていません。障害を理解してもらうことは難しいかもしれませんが、知ろうとしてくれる人がいるのは心強く、ありがたいことだと思いました。



・知的障害、発達障害、自閉症といっても一括りで分けられることはなく、生後から診断、出来事、現在の様子や困りごとを中心に話させてもらいました。静かに耳を傾けてもらったことは、私たち母親にとって、今日聞いて下さった方にとって、何かのキッカケになればいいな、と思いました。



知的・発達障害のある 子どもを育てるQ&A

こんな時どうするの～困った行動への対応編～

Q 障害特性での困った行動にはどのように対応したらいいですか？

A-1 パニック状態に陥る

急な予定変更や予想外のこと、理解ができない状態などでは、頭の中が混乱して泣きわめいたり、かんしゃくを起こしたり、パニック状態になることがあります。そういう時には、まず静かな場所に連れて行き、抱きしめたりせずに黙って静かに落ち着くまで見守りましょう。

興奮している状態では、どんな言葉をかけても本人には伝わりません。その場で叱ったり説得したりなだめたりすることは、かえって長引かせることになりかねません。

また、予定が変わってパニックになるのは、その後の見通しがつかず不安になるからです。そうなることを避けるには、一日のスケジュールを提示し、変更がある場合は、予定が変わることを前もって伝えることが大事です。機嫌を損ねるから、パニックになるからと思わず、本人が理解できる方法で正しいことを伝えるようにしましょう。



A-2 運動会・発表会などの行事参加を嫌がる

練習のため普段のスケジュールが変わったり、当日は多くの人が集まったり、普段とは違うことが多くなることで不安や混乱を招きます。練習中のスケジュールは、先生と相談して絵や写真など視覚的に理解できるように提示します。当日のプログラムも必ず事前に教えてあげましょう。そして、どんな形で参加できるか、全て参加しなくてもいいよ、などと本人とよく話をしましょう。

参加するのは本人なので、周りが勝手に決めたり無理強いしないようにしましょう。

課外授業や病院の受診なども、事前にできる限り具体的に伝えておきましょう。

見通しが立つことで落ち着いて行動できるようになります。

早めに根気よく！

知的・発達障害のある子どもたちは、一度身についたことやこだわりの強いことを途中から変えていくことはとても難しいです。

例えば「人をたたく」「物をこわす」「人前で服を脱ぐ」などは、大人になっても直らなければ「犯罪」になってしまうこともあります。

こういった「してはいけないこと」は幼児期から、正しく根気よく教えていくことが大切だと思います。

※「知的・発達障害のある子どもを育てるQ&A」

広島県手をつなぐ育成会から冊子が発行されています。この冊子は「Q1. 気になるな…と思ったら」

「Q8. こんな時どうするの～」 「Q19. 地域で暮らしていくには」など。幼児期から大人までの、24項目の質問事項に分かりやすく回答しています。

※ご希望の方は育成会までご連絡下さい。





「将来について考える」



しらゆり

息子は 24 歳です。呉南特別支援学校の高等部を卒業後、障がい者支援事業所で働いて 6 年目になります。

育苗花壇の部に所属し花の苗を育て、呉市内の花壇に花を植え、水をやり、雑草を抜いたりして管理をするのが主な仕事です。毎日楽しく仕事へ行っています。

支援学校在学中に息子の卒業後を決める時、悩みました。息子は片手に麻痺があり、計算は出来ず、漢字は少ししか読めませんでした。一般就労が母としては夢でした。無理かもしれないが職場体験は一般企業で障がい者雇用のある会社を私が希望し、体験させてもらうことにしました。

しかし、事前の会社との打ち合わせから、難しさを感じました。

まず職場体験の場所へ一人で行くことが出来ない事。それまで学校以外は 1 人で移動させた事がなかったからです。何度も練習をして職場体験の場所まで行くことは出来るようになりましたが、実習時の仕事内容や手順など説明を受けても覚えておく事が出来なかったようでした。

職場体験は 2 日しかなく、言われたことが出来るようになるまでに何日もかかる息子には辛かった体験だったかもしれません。働くことの厳しさを感じました。

職場体験の経験から卒業後は事業所を選択することにして、今の事業所へ行くことになりました。

学校を卒業してから、今までに息子は出来る事が増えました。家での手伝いでは洗濯物の取り込みや、ゴミ出し、庭の植木の水やり、草抜きなど自分で判断してやってくれます。高等部の時には、できない事ばかりを見ていた気がします。出来る事が増え、少しずつ成長している息子にとって、このまま今の事業所で働き続けることが良い事なのか、違う場所を目指すのかをあせらず息子の意見も聞きながら、一緒に考えていきたいと今は思っています。



“IT 研修会を開催しました”



9 月 11 日(月)広島県障害者 IT サポートセンターの方を講師に迎え IT 研修会を開催。子どもたちが、日頃学校で使っているタブレットについて教わりました。

参加された皆さんの感想

- ・セキュリティーや SNS でのトラブルなど気をつけなければいけないポイントが、よく分かりました。
 - ・タブレットの使い方の「基本のキ」が改めてよくわかりました。
 - ・知的・視覚・聴覚等、障害別にたくさんのアプリがあり、我が子に、又自分自身でも使ってみたいと思いました。
- 次は本人さんたちも習えたらいいな～。





「もうすぐ35歳になる娘」

令和
手をつなぎ生きる
vol.21



中岡 里美

私の次女、摩弥はダウン症です。

小さい頃は地元の保育所、小中学校に通いましたので、エピソードも多々ありましたが、今は「くれんど」と「ぽこあぽこ」に3日ずつ通っています。

ぽこあぽこで支給して貰った連絡ノートをくれんどでも使っています。摩弥はそのノートに何を書いたか必ず確認してきます。それは事業所でも同じです。職員さんに読んで貰っているようです。

自分のことがどう書かれているのか、とても気にします。カレンダーや私の手帳に書き込みをすると直ぐに「何？」と、聞いてきます。スケジュールも把握しておきたいようです。(事業所でも同じ)

のんびり屋に見えて、とても敏感です！

今は摩弥の姉家族と一緒に住んでいるので、小4の甥・小2の姪ともよく関わります。

自分が年上なのだと、ちょっとしたお菓子でも呼び寄せて渡します。

お年玉も毎年渡します。「摩弥ちゃん、あり

がとう」と言ってもらえると満更でもない顔で、叔母さん感満載です。

摩弥を含めてダウン症の子はわりと、周りの人と一緒に過ごす事が難しくないと思います。それでも摩弥は学校の先生、事業所の職員、病院の先生に慣れて自分から挨拶するようになるまで2~3年かかりました。

大人になって、何が必要なのか。

それは周りの人とのコミュニケーションを取る事なのではないかということです。身に付けるのに時間がかかるので、なおさら。

自分がやりたい様にしてみるのも大切ですが、仕事などではそれを途中で止めることが出来るとか、指示に従えるかも大切になります。また、困った時には助けを求めることも時には必要です。

社会人として、障がいがあっても無くても「仕事ができる」ということは、本人が勉強で自信をつけるだけでなく、親や支援者も社会性がつくように本人をどうサポートしていくかだと思います。

サポートファイル学習会 -広島県立呉特別支援学校-

◎ 学習会の内容についてのご意見・ご感想 ◎

・本人の状態(移動, 食事, 排せつ)は、避難先などを想定して考える。(例えば: 食事の場合, 食べられる状態のカップ麺を自分で食べたとしても自立ではない。自分でカップ麺を受け取り, 熱湯を注ぎ3分待って食べられるかどうか。)

・相談歴は, 最初に違和感を覚えた日から, その後の相談, 検査, 診断, 訓練等の年月日, 機関担当者等を書いておくと障害年金申請時に役立つ。

・たくさん書くことがあって大変ですが, 子どもとのことを思い出しながら, 書けたらいいなと思います。

・今日は, 参加できて, とても楽しかったです。楽しく, 分かりやすくお話しくださり, ありがとうございます。

・徳永さんのお話が, 大好きなので, とても楽しくサポートファイル学習をさせてもらいました。徳永さんにお会いできた時は, 「子育てがんばれ!!」のエールをたくさんいただけるので, 元気になれるし, いっぱい笑えます! ありがとうございます。

・とても楽しくお話をきくことができました。サポートファイル以外の話が聞けてよかったと思います。

ぼくの学級！
わたしの学級！

明德中学校 太陽学級

明德中学校太陽学級には、2年生男子1名が在籍しています。明るく楽しく元気よく、学習や活動がんばっています。

自立活動

「立体パズルの制作」では、設計図を見ながら、細かいパーツを正しく組み合わせて「法隆寺～五重塔～」を作りました。「秋の文化発表会までにできたらいいな」と思っていたのですが、手先の器用さと集中力を存分に発揮して、なんと3週間足らずで完成させることができました。

また、「読み聞かせてみんなを喜ばせる!」「ソロコンサートでみんなを幸せにする!」という目標を立て、まずは絵本の読み聞かせを行いました。クラスのメンバーや他学年との交流により、つながりも深まっています。キャリア・スタート・ウィークで行かせていただいた明德児童会でもこの読み聞かせを行い、小学生に楽しんでもらうことができました。

【立体パズル】



説明書は全文が英語！
設計図をよく見て、つなげる場所や向きを確認しています。



【絵本の読み聞かせ】



学校司書の田中先生にコツを教してもらいました。



昼休みの図書室で練習したり、先生方にも聞いてもらったりしました。



いざ本番!「声の大きさや間の取り方が上手でした」と言ってもらいました!





ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告



カレーを作ったよ！

ほんにんぶかい
本人部会

しらい かずや
白井 一哉

がつ にち にち いくせいかいほんにんぶかい づく
9月17日（日）育成会の本人部会でカレー作りをしました。

ひさ ほんにんぶかい たの
久しぶりに本人部会にでて楽しかったです。

つく おい
4つにわかれてカレーを作りました。美味しくできました。



しょうがいふくしか ひと やさい づく
障害福祉課の人が野菜サラダを作ってくれました。食べながら障害福祉課の人から生活で困ったことなど聞かれました。

かん そう
感 想

- みんなと作って楽しかったです。またみんなと作りたいです。
- 上手に作れました。おいしかったです。
- みんなに会えて嬉しかったです。話ができてよかったです。



第41回 野呂山学園作品展 『Abrazo Grande 大きく抱きしめよう』

日時：10月24日(火)～10月29日(日)10:00～16:00

場所：グリーンヒル郷原（香りの館） 入場無料

問い合わせ先：野呂山学園（作品展広報担当 廣本 0823-77-0111）



多くの方が楽しみにしてくださっている『第41回 野呂山学園作品展』！
皆様のあたたかいご支援のおかげをもちまして、今年も開催できる運びとなりました。年間を通して、法人の利用者様が楽しく創作活動に取り組んでおられる絵画、書、陶芸作品を多数展示しております。作品一つ一つから溢れでるストーリーやメッセージを感じ、ホッと心温まる空間にぜひお越しください。



☆ありがとうございました☆
【順不同・敬称略】(10月20日現在)



サポート会員の皆さま

松川 美津子 落合 宏美



11月20日(月) 10時~12時

心をつなぐサポートファイルひろしま 結愛~yui~を書こう

保護者がお子さんとの日々の関わりや病院、福祉施設、保育園、学校等で受けた支援内容などを書き綴り、「記録・保管」する記録ノートです。進級時・卒業後の進路・障害基礎年金の手続きを行うとき役立ちます。先輩の子育ての話を聞けるのも学習会の良い所です。※サークルや小グループ等での出前学習会や、個人学習会も可能です。ご希望の方は、ご連絡ください。



教えてください

災害等で避難所に行ったとき、障がい児・者の皆さんに「こんなものがあれば助かる。こんなものがあれば嬉しい」と思うものがあれば教えてください。年齢や支援の違いで必要な物が違ってくると思いますが、思いつくものがあればご連絡ください。事務局 24-2260

第38回 くれ福祉まつり

日時：令和5年10月15日(日)
10:30~14:00

場所：呉ポートピアパーク

内容：ボランティア活動・展示物・バザー
体験コーナー(手話、車椅子ほか)
飲食コーナー・ふれあいステージなど
問い合わせ先

呉市社会福祉協議会 0823-25-3505

編集後記

暑い夏も過ぎ、寝苦しさもやっと解消。いよいよ食欲・スポーツ・読書の秋ですね。
さて、育成会だより発行に当たり、たくさんの方々に記事の投稿をお願いしております。特にお母さん方の子育ての話は、辛かった時期を思い出し身を削る思いで書いていただいております。その思いが少しでも後輩のお母さんの力になればと願っております。
育成会の本人活動のうたう会、いくせい太鼓の皆さんは県大会・福祉まつり等の行事に参加できる事を楽しみに、練習されています。一緒に参加しませんか。

クリスマス会ご案内

今年も、呉南ロータリークラブ、清水ヶ丘学園インターアクトクラブの皆さんと楽しい時間をすごしませんか。詳細は育成会だより11月号、ホームページにてお知らせいたします。

オリジナルデザイン

Tシャツ・ブルゾン・トレーナー・横断幕
マグカップ・記念盾・ストラップ……など

1点から承ります。

UNIX

Printing Solution Company

株式会社 **ユニックス**

呉市広白石1丁目2-34 TEL(0823)72-8000
www.unix-press.com

障害者支援施設 仁方
特別養護老人ホーム 仁方
アメリカンダイナー 仁方 (通所介護・生活介護)

Nigata



〒737-0157 呉市仁方町戸田 4407 番地
Tel:(0823)70-2222 Fax:(0823)79-0020